

ソウルフードを徹底取材



BOOK ほっかいどう



小樽あんかけ焼きそば事典2017

〈著〉小樽商科大学第16・17期江頭ゼミ

小樽市民にとってソウルフードともいわれる「あんかけ焼きそば」のルーツから提供店を紹介したグルメガイド。小樽人にこれほど「あんかけ好き」が多いとは知らなかった。

2013年に第1弾が出た、ひそかに話題になった事典の改訂最新版。この4年の間で、多くの老舗がのれんを下ろす一方、新規参入もまた多いという。

最安480円から最高1400円まで、小樽全域の56店舗を紹介する。中華料理店ばかりでなく、ホテルやマージャン荘、すし屋、日帰り温泉の飲食メニューまで網羅する徹底ぶりだ。

「あんかけ焼きそば」の定義はなく、100店あれば100の味があるという個性豊かな味が盛りつけ写真からも伝わってくる。

昭和30年代に生まれたとされるルーツを紹介するコラムからは、かつて商都としてにぎわった小樽の姿や飲食店に携わった人々の歴史も浮かび上がってくる。

学生たちが足と舌で取材し、広告も集めて1冊の本をつくる。とても実践的な学びになったことだろう。手作り感あふれる体裁にしてはそれなりのお値段だが、味は悪くない。(発売元オー・プラン、税込み486円) (山内浩司)